

新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

松竹系 2月 演劇公演資料

..... 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 心謎解色系』	○		○	○
	『通し狂言 青砥稿花紅彩画』	○			
新橋演舞場	『母をたずねて膝栗毛』			○	○
南座(京都)	五木ひろしコンサート				○
	“座 オペラ”in南座			○	
	舟木一夫シアターコンサートin南座			○	○
松竹座(大阪)	『一姫二太郎三かぼちゃ』			○	○
	『大阪下町物語 浪花のロミオとジュリエット』				
博多座	『御摂勧進帳』	○			
	『二人椀久』				
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○		○	○
	『傾城反魂香』	○			
	『道成寺真似三面 奴道成寺』	○			
大塚国際美術館	『土屋主税』	○			
	『満月阿波囃 フィガロ 恋のアラベスク』	○		○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

映画資料

..... 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版 TIGER & BUNNY The Rising』					

映画プログラム

- 『17歳』
- 『大統領の執事の涙』
- 『ジョバンニの島』
- 『ホビット 竜に奪われた王国』
- 『スノーピアサー』
- 『ニシノユキヒコの恋と冒険』
- 『抱きしめたい 真実の物語』
- 『メイジーの瞳』
- 『ラッシュ プライドと友情』
- 『大脱出』
- 『トリック劇場版 ラストステージ』
- 『危険な関係』
- 『The Story of CNBLUE NEVER STOP』
- 『ハンガー・ゲーム2』
- 『劇場版 HUNTER×HUNTER The LAST MISSION』
- 『Wake Up, Girls! 七人のアイドル』
- 『ゲノムハザード ある天才科学者の5日間』

他社演劇公演資料

青山劇場	1月	日本テレビ開局六十年特別舞台『真田十勇士』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	2月	劇団民藝『蠟燭の灯、太陽の光』プログラム、台本
国立劇場小劇場	1月	『邦楽鑑賞会 長唄の会 三曲の会』プログラム 『民俗芸能公演 東北の芸能Ⅳ』プログラム
国立文楽劇場	1月	『第一三三回 文楽公演』プログラム、床本 『第二十六期文楽研修生発表会』プログラム
シアタークリエ	1月	『最高はひとつじゃない2014』プログラム
シアタートラム	2月	『現代能楽集ⅤⅠⅠ 花子について』プログラム
下北沢駅前劇場	2月	MONO『のぞき穴、哀愁』プログラム
下北沢「劇」小劇場	1月	『運転免許 私の場合』プログラム
新国立劇場中劇場	1月	小野寺修二カンパニーデラシネラ『ある女の家』プログラム
自由劇場(四季)	1月	劇団四季『思い出を売る男』プログラム
S P A C E 雑遊	1月	劇団わらく『壁あまた、砂男』プログラム
	2月	アル カンパニー『失望のむこうがわ』プログラム
青年劇場スタジオ結	2月	青年劇場『博士の愛した数式』プログラム
世田谷パブリックシアター	2月	ピーピング・トム『A Louer /フォー・レント』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	1月	劇団山の手事情社『ドン・ジュアン』プログラム、台本
東京芸術劇場シアターイースト	2月	女優一人芝居×ダブルキャスト『障子の国のティンカーベル』プログラム
三越劇場(日本橋)	2月	『恋文 星野哲郎物語』プログラム、台本
明治座	2月	『松平健・川中美幸特別公演』プログラム、台本

演劇雑誌

『a a f 通信』2014年2月最終号	『上方芸能』2014年3月(191号)
『あぜくら』平成26年2月号	『神奈川芸術プレス』Vol.116
『文楽通信かわら版』22号	『国立演芸場公演ガイド』平成26年3月号
『舞踊芸術』2014年3月号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年3月号
『Confetti』2014年MARCH	『日本照明家協会誌』2014年2月号
『Confettiかわら本』2014年3月	『日本舞踊』66巻3月号
『伝統文化新聞』2014年(93号)	『日本劇作家協会会報 ト書き』2014年No.51
『演劇界』2014年4月号	『大向う』平成26年3月号
『悲劇喜劇』2014年3月号	『ラ・アルプ』2014年3月号
『邦楽の友』平成26年3月号	『シアターアーツ』2014年冬(57号)
『ほうおう』2014年3月号	『シアターガイド』2014年4月号
『J P L』2014年Winter No.52	『テアトロ』2014年3月号

映画雑誌

『ドラマ』2014年3月号	『ムービー・スター』2014年4月号
『映画テレビ技術』2014年3月号	『NFCニューズレター』2014年2月-3月号
『映画芸術』2014年冬号(446号)	『NFCカレンダー』2014年3月号
『映画撮影』2014 Feb No.200	『日経エンタテインメント!』2014年3月号
『映画時報』2013年12月号,2014年2月号	『ピクトアップ』2014年4月号
『映画秘宝』2014年4月号	『SCREEN』2014年4月号
『エキブ・ド・シネマ』2014年No.198	『シナリオ』2014年4月号
『FLIX』2014年4月号	『シナリオ教室』2014年3月号
『キネマ旬報』2014年3月上旬号,3月下旬号	

(新規登録資料案内 続き)

書 籍

- | | | |
|----------------------------|-------------------------|------------|
| 『ススめ! 算数少年少女 たのしい和算ワールド』 | 小寺裕 (著) | みくに出版 |
| 『戦後「忠臣蔵」映画の全貌』 | 谷川健司 (著) | 集英社クリエイティブ |
| 『日本芸術文化振興会年報 平成24(2012)年度』 | | 日本芸術文化振興会 |
| 『森崎東党宣言!』 | 藤井仁子 (編) | インスクリプト |
| 『優秀新人戯曲集 2014』 | 日本劇作家協会 (編) | ブロンズ新社 |
| 『私と満州国』武藤富男 (著) | | 文藝春秋 |
| 『川喜多かしこ 映画ひとすじに』 | 川喜多かしこ (著) | 日本図書センター |
| 『幻のキネマ満映 甘粕正彦と活動屋群像』 | 山口猛 (著) | 平凡社 |
| 『満映 国策映画の諸相』 | 胡昶+古泉 (著) 横地剛+間ふさ子 (訳) | パンドラ |
| 『歌舞伎座さよなら公演16か月全記録 全八巻』 | | 小学館 |
| 『年鑑代表シナリオ集'11』 | | シナリオ作家協会 |
| 『年鑑代表シナリオ集'12』 | | シナリオ作家協会 |
| 『松本幸四郎 私の履歴書』 | 松本幸四郎 9世 (著) | 日本経済新聞社 |
| 『映画年鑑 2014』『映画館名簿 2014年版』 | | 時事映画通信社 |
| 『演劇映像学2007報告集:1 2』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2008 第1集 第4集』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2008報告集』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2009 第1集 第4集』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2009:報告集1 2』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2010 第1集 第5集』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2010報告集:1 2』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2011 第1集 第5集』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |
| 『演劇映像学2012』 | 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム | |

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2013年12月~2014年1月)

許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、日本劇作家協会、安孫子正、劇団民藝、日本映画テレビプロデューサー協会、博多座、国立劇場、日本映画テレビ技術協会、株式会社日本舞踊社、シナリオ・センター、関西・歌舞伎を愛する会、文学座、OSK日本歌劇団、佐相勉、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、関容子、小寺裕(二代目福田理軒)、新歌舞伎座、演劇出版社、一般社団法人日本民間放送連盟、舞踊芸術社、劇団四季、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、キネマ旬報社、流山児 事務所、はせひろいち、丸善出版株式会社、東京大学出版会、ロングランプランニング株式会社、劇団朋友、アーティストジャパン、早稲田大学演劇博物館、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、ディアゴスティーニ・ジャパン、加藤健一事務所、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、(株)近代映画社、日本演劇興行協会、フィルムセンター、公益社団法人日本照明家協会、東宝株式会社、劇団1980、人形劇団ブーク、劇団俳優座、森崎事務所、紀伊國屋ホール、シアタークリエ、三越劇場、岩波ホール、園田学園女子大学近松研究所、日本シナリオ作家協会、劇団青年座、日本近代文学館、前進座、無声映画鑑賞会、銀座百店会、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、国立歴史民俗博物館、明治座、名古屋芸能文化会、邦楽の友社、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、おもだか会、株式会社東急文化村、俳優座劇場、渡辺保、日本芸能実演家団体協議会 実演家著作隣接権センター、東京都江戸東京博物館、関西常磐津教会、NODA・MAP、公益財団法人大宅壮一文庫、世田谷文学館、博物館明治村、日本劇団協議会、パルコ劇場、花組芝居、名取事務所、こまつ座、一般社団法人長唄協会、社団法人日本演劇協会、調布市武者小路実篤記念館、劇団銅鑼、四季株式会社、帝国劇場、黒澤明研究会会誌、日本テレビ、義太夫協会

どうもありがとうございました

ご寄贈いただきました

2014年2月19日

歌舞伎の竹本三味線として舞台上で活躍された、鶴澤英治師旧蔵の竹本三味線譜134部（クリアファイル）及び目録を、義太夫協会様を介して、ご寄贈いただきました。

貴重な資料として末永く大切に保存させていただきます。ありがとうございました。

ちょっと調べてみました

「歌舞伎のお雛様」



3月3日は桃の節句ですね。当館も事務所内に、毎年お雛様を飾るのが習わしとなっています。

ところで、歌舞伎ではどのような作品にお雛様が登場するのでしょうか。

まずは、義太夫狂言の名作『妹背山婦女庭訓』の「吉野川」の段。親が対立しながらもお互いを想う久我之助と雛鳥の悲劇が、桃の節句の季節を背景に描かれます。叶わぬ恋から死を選んだ二人。久我之助は切腹、雛鳥は首を打ち落とされます。死に瀕する久我之助の元へ雛道具とともに雛鳥の首が、二人を隔てていた吉野川を渡って嫁入りをする場面は「雛渡し」といい、涙を誘います。

こちらもお雛祭の後に悲劇が起こります。『井伊大老』は北條秀司による新作歌舞伎です。安政7年3月2日、桜田門外の変の前日。井伊直弼と側室のお静の方は桃の節句の宴を行います。井伊直弼が、華やかな段飾りの雛人形を背にお静の方と語り合う場面は、翌日に暗殺される運命であるが故に、哀しみを呼ぶ場面です。

『義経千本桜 道行初音旅』は、主従の関係である静御前と忠信の道行を描いた舞踊です。「弥生は雛の妹背仲 女雛男雛と並べて置いて」の詞章とともに、静御前と忠信がそれぞれ女雛、男雛となった心で寄り添う振りを見せます。大向うから「ご兩人！」と声がかかるところです。

明治・大正の女流歌人であり、晩年は戯曲や舞踊作曲も手がけた九条武子夫人の遺作『四季』は、「春」紙雛、「夏」魂まつり、「秋」砧、「冬」木枯、と題し、四季の情緒が込められた舞踊作品です。「春」は紙雛の女雛、男雛の恋を描いており、昭和56年5月歌舞伎座では、女雛に七代目尾上菊五郎、男雛に十代目市川海老蔵（後の十二代目市川團十郎）が扮し、美しい姿を披露しています。

最後にちょっとユニークな舞踊作品をご紹介します。川尻清潭が書き下ろし、昭和29年3月歌舞伎座で上演された『桃節句雛之夜祭』は、菊五郎劇団の若手俳優陣が出演した新作舞踊で、雛の節句の楽しさを舞踊化した作品です。男雛は四代目河原崎権三郎（後の三代目河原崎権十郎）、女雛は二代目大川橋蔵です。雛祭の夜が更けて、大雛段に並んだ雛人形たちが動き出し、男雛、女雛、右大臣、左大臣、官女、五人囃子たちが、優雅な踊りや世話にくだけた踊りを披露します。最後は、夜明けを告げる鐘の音に慌てた雛人形たちが段の上に戻ろうとするも、あまりの狼狽のために他の人形の場所に収まってしまったり、持ち物も他人の物を持ってしまったりという、ユーモア溢れる趣向で幕が下ります。雑誌「演劇界」（昭和29年4月号）には、幕開きと幕切れの二枚の舞台写真がキャプション付で掲載されていますが、よく見ると男雛と女雛の位置が逆になっているなど、確かに異なるところが多々あり、この新作舞踊のコミカルさがうかがい知れます。思わず舞台を見たい気持ちになる写真です。翌年の昭和30年4月御園座上演の後には、残念ながら上演されていません。

当館ではこれらの作品のプログラム、「演劇界」などの雑誌、スチール写真、台本などを所蔵しております（作品によってはないものもあります）。ご興味のおありの方は是非お越し下さい。



当館のお雛様です。女性ばかりの職場のためか、お雛様の前はお菓子がたくさん…花より団子！？

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年2月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

公益財団法人 昭和池田記念財団

どうもありがとうございます

春季特別整理休館のお知らせ

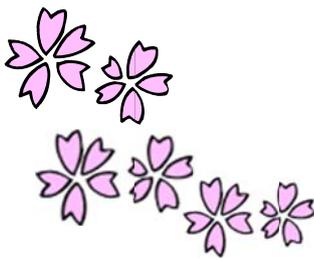
平成26年3月15日（土）より3月30日（日）まで、資料整理のため休館いたします。
平成26年3月31日（月）より通常どおり開館いたします。

編集後記

松竹大谷図書館の事務局を担当しております須貝弥生は平成26年3月末日をもって退職いたします。何とか事務局の仕事を勤められましたのも皆様のご協力のお蔭です。ありがとうございました。4月からは武藤祥子が後任となります。須貝同様、温かくお導きくださいますよう、お願いいたします。

今月は長期休館があるため、閲覧室の資料展示は2月の「スーパードンデン」の資料を引き続き展示しております。4月の展示は、昨年誕生100年を迎えた映画監督、中村登の資料を展示する予定です。

前回の編集後記でお知らせした、松竹株式会社によるクラウドファンディング「小津安二郎監督映画作品の『晩春』デジタル修復プロジェクト」が、無事成立しました。『晩春』がどのように美しく甦るのか、とても楽しみみです。



● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

